

「光陰矢の如し」の言葉どおり、9月も今週で終わり、来週からは10月です。今年度も間もなく折り返し地点に来ます。10月は、皆さんが主体的に行動しなければ成果を上げられない行事がたくさんありますので、一層の活躍を楽しみにしています。

一方で、10月は行事が多いことを言い訳にしまい、学習への取組が甘くなるきらいがあります。授業を大切にすること、家庭での予習・復習をすること、3年生は受験に向けた学習に計画的に取り組むことを1日も休まず継続してください。私たちも、皆さんから寄せられた声を生かして、授業をもっと分かりやすく力をつく、知的に楽しい授業にできるように努めます。また、授業以外でも皆さんの学力を高めるために、昼休みのスパイラルタイムを活用した「書くトレ」、英語や数学などの習熟度別学習、放課後の全校学習会、3年学習会をテスト前に限らず、定期的に実施しますので、皆さんも主体的に取り組んでください。勉強も運動も、そして仕事も、できるようになるための秘訣は、自ら取り組むこと、即ち主体的に取り組むことにあることを皆さんと確認しておきます。

さて、皆さんの中には、学校内にとどまることなく活躍のチャンスを見出している人たちがいますので、激励の意味も込めて、改めて紹介します。

一人目は、全国都道府県対抗中学バレーボール大会福島県代表選手に選ばれた、3年女子です。彼女は、12月の大会まで毎週末、県外遠征をして、ハイレベルな試合の経験を積んでいます。週末のまとまった時間が確保しづらい中で、受験勉強とバレーボールの両立は口でいうほど簡単ではありませんが、時間がないというあせりを集中力に転換して、高校入学前から文武両道を実践してください。彼女に限らず、高校で部活を続ける人には、文武両道の壁が必ずありますので、それを越えられるように、自己マネジメント力を中学校時代から養ってください。

二人目は、11月に開催される「ふくしま駅伝」の田村市チームの選手に選ばれた、3年男子です。彼は、支部中学校駅伝大会での活躍が認められ、市の代表選手に選抜されました。常設の陸上部がない本校から彼が選ばれたことは、やればできるという自信を私たちにもたらししてくれました。明後日27日の結団式が終わると、大会本番に向けてのハードな練習がほぼ毎日あるようですが、選手に選ばれた誇りと都路のプライドを胸に、文武両道を目指してください。

三人目は、ふくしまっ子ごはんコンテストに応募し、10月の最終審査まで残った、2年女子です。彼女の考えたお弁当の献立は、食欲が増す彩りと栄養バランスのよさ、地元都路の食材を取り入れた点などが、審査員から高く評価されました。最終審査では、審査員の前で、彼女が実際に調理し、審査員の試食を経て最優秀賞が決定されると聞いています。自宅で練習して本番に臨んだとしても、当日は緊張するかもしれませんが、選ばれた者にしか味わうことのできない晴れの舞台をぜひ楽しんでください。

四人目は、10月1日から9日まで、田村市アメリカ派遣研修事業に参加する、2年女子です。アメリカでは、現地の学校での交流があったり、ホームステイをしたりなど、貴重な体験が凝縮されています。約1週間とはいえ、アメリカでの生活には不安があるかもしれませんが、未知の世界に飛び込む時のワクワク感・ドキドキ感を楽しみ、彼女が大切にしている好奇心で、アメリカの魅力を存分に体感してください。

9月18日付の福島民報に、1年男子の投書が掲載されました。彼は、田村市副市長さんの「故郷の中にとどまらずに、外へ出て、たくさんの情報を得て、視野を広く持ってほしい。」「自分の故郷のよさは、外へ出てから見ないと気付かない。」という言葉に触発され、「色々なことにチャレンジして、たくさん経験して、自分のやりたいことを見つけよう。」と投書の中で述べています。

今日紹介した5名の皆さんに限らず、多くの都中生が一步でも前へと踏み出し、自分の殻を打ち破る面白さを味わうことができるよう、皆さんのチャレンジをこれからも応援していきます。4名の皆さんの活躍と健闘を皆で祈っています。